

原子力の安全性向上を担う人材の育成事業委託費

平成30年度予算額 **1.0億円（1.0億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 東京電力福島第一原子力発電所事故を踏まえ、エネルギー基本計画（平成26年4月閣議決定）では、東京電力福島第一原子力発電所や今後増える古い原子力発電所の廃炉を安全かつ円滑に進めるための高いレベルの原子力技術・人材の維持・発展が必要であるとしています。
- 軽水炉安全技術・人材ロードマップ（平成27年6月総合資源エネルギー調査会自主的安全性向上・技術・人材WG策定、平成29年3月改訂）、原子力の自主的安全性向上の取組の改善に向けた提言（平成27年5月総合資源エネルギー調査会自主的安全性向上・技術・人材WG策定）においては、技術開発と人材の育成・確保を表裏一体のものとして実現していくものであることが示されており、現場人材の育成等についても重要性が指摘されています。
- 本事業は民間企業や教育機関等に委託を行い、原子力の安全を確保するための人材の維持・発展に資する取組を行うものです。

成果目標

- 平成25年度から平成30年度までの事業であり、原子力分野の人材の技能向上や専門性の高度化を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

人材育成のための取組内容

- 軽水炉安全技術・人材ロードマップにおいて重要度が高いとされている課題（システム・構造・機器（SSC）の信頼性向上と高度化など）の解決に資する人材育成の実施
- 原子力の自主的安全性向上の取組の改善に向けた提言の中で指摘されているニーズに合致する人材育成の実施（リスク分析やリスク管理及び外部ステークホルダーとのシビアアクシデントを想定したリスクコミュニケーション[※]を実施する能力を備えた人材など）

※リスクコミュニケーション：リスクに関する情報を関係主体間で共有し、コミュニケーションを図ること

取組例

- 原子力発電所におけるリスク管理やシビアアクシデントを想定したリスクコミュニケーションを実施する能力を備えた人材を育成するために受講者のレベルに応じた体系的な講座を実施
- 現場技術者のメンテナンス業務の技能向上や事故への対応能力向上に向けた実習及び講義を実施

実習風景



講義風景

